

市政ピックアップ

新潟県原子力防災訓練 11/13(土)



▲スクリーニング・簡易除染体験の様子

柏崎刈羽原子力発電所での原子力事故を想定した県の防災訓練が行われ、当市ではこれに合わせ吉川区の住民を対象とした独自の訓練などを開催し、10町内38人が参加しました。

訓練などでは、吉川小学校での安定ヨウ素剤の緊急配布やバスによる避難経路所までの移動体験、ユートピアくびき希望館でのスクリーニング・簡易除染体験などを行い、万が一、事故が起きてしまった場合の対応を確認しました。

古城小学校閉校記念式典 11/21(日)



来年春に直江津小学校と統合する古城小学校の閉校記念式典が行われ、児童や保護者、地域住民などが参加し、74年の歴史に思いを寄せました。

式典では、在校児童21人がこの日のために練習した太鼓演奏「古城鼓童子」を感謝の思いを込めて力強く披露し、大きな拍手が送られました。

式典後には、閉校記念碑の除幕式が行われ、代表児童が母校への思いや今後の決意を話しました。

集落づくり推進員通信

2



市ホームページ

中山間地域の暮らしを守り、活力の維持・向上を図るためさまざまな支援を行う「集落づくり推進員」。

今回は吉川区の池上推進員を紹介し
ます。

—どんな活動をされていますか？

吉川区の中山間地域は農業が主産業であり、人々の交流や集落間の交流、お祭り、もよおしなど全てが農業を関わりとして成り立っていると言っても過言ではありません。そんな地域の暮らしや出来事を「推進員たより 続・たっしやかねー」として取り上げ、月1回発行しています。

また、大賀地区では地域で取り組まれていた「永田農法」をきっかけに都会から有志が農作業などに訪れる交流が続いており、「ふるさとLAB大賀」として活動しています。



吉川区 池上 美樹 推進員

—活動の中で感じていることは？

どんな活動も、人と人との結びつきが喜びをもたらし、活性化につながるのではと感じています。「ふるさとLAB大賀」の活動もコロナ禍の影響で2年近く中断していましたが、この秋、稲刈りとはき掛けを実施する事ができました。再会を喜ぶ地域住民とLAB会員の姿は感動的でした。

—今後の目標を教えてください

「地域おこし協力隊」の途切れることない継続的な導入です。先輩協力隊員が次の協力隊員を指導して、次の協力隊員へとつなげていく「順送り」の仕組みができればと思っています。

再会した住民とLABの会員
一緒に汗を流して、農作業

